

キ 学部の授業科目の履修

本大学院教育学研究科学生は、願い出により学部の科目等履修生として、学部の授業科目を履修することができます（検定料、入学料及び授業料を徴収）。ただし、1年間に修得できる単位数は、12単位を上限とします。なお、教育実習の単位は上記単位に含まないものとします。

(2) 取得可能な専修免許状の種類

本専攻において、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所要の単位を修得したときは、次に示す教育職員免許状授与の所要資格を得ることができます。

なお、取得しようとする免許状の1種免許状を有することが必要です。

ただし、教員経験年数及び他教科の免許状所持による単位修得で1種免許状を取得した場合は、専修免許状を取得出来ない場合があります。

専攻等	教育職員免許状の種類	免許教科
高度教職実践専攻	幼稚園教諭専修免許状	
	小学校教諭専修免許状	
	中学校教諭専修免許状	国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 保健, 技術, 家庭, 職業, 外国語(英語)
	高等学校教諭専修免許状	国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 工芸, 書道, 保健体育, 保健, 家庭, 情報, 農業, 工業, 外国語(英語)
	養護教諭専修免許状	

(3) 専修免許状の所要資格取得の方法

専修免許状の取得に必要な基礎資格及び最低修得単位数は、次のとおりです。

取得しようとする専修免許状の種類（免許教科）に対応する本研究科の開設科目は、授業科目一覧のとおりです。

授業科目と対応する免許状の種類に注意の上、専修免許状に必要な単位を取得してください。

教育職員免許状の種類	基礎資格	科目区分	最低修得単位数
幼稚園教諭専修免許状	修士の学位及び幼稚園教諭1種免許状を有すること	教科又は教職に関する科目	24
小学校教諭専修免許状	修士の学位及び小学校教諭1種免許状を有すること	教科又は教職に関する科目	24
中学校教諭専修免許状	修士の学位及び中学校教諭1種免許状を有すること	教科（授与を受けようとする教科）又は教職に関する科目	24
高等学校教諭専修免許状	修士の学位及び高等学校教諭1種免許状を有すること	教科（授与を受けようとする教科）又は教職に関する科目	24
養護教諭専修免許状	修士の学位及び養護教諭1種免許状を有すること	養護又は教職に関する科目	24

※大学院の課程に1年以上在学し、30単位以上修得した場合は、在学中でも専修免許状の申請ができます。

3 授業科目一覧

高度教職実践専攻

区分	分野	科目番号 (*1)	授業科目	配当 年次	単位数		開設時期	曜日	校時	担当教員	専修免許状対応学校種					単位数				
					必修	選択					幼	小	中	高	養教					
共通科目		3001	学校教育の課題と教員	1	2							○	○	○	○	○	22			
		3002	これからの時代の学校教育の在り方	1	2								○	○	○	○		○		
		3003	総合学習のためのカリキュラム開発	1	2									○	○	○		○		
		3004	教育課程を創る	1	2								○	○	○	○		○		
		3005	教科教育の実践と課題	1	2								○	○	○	○		○		
		3006	教科等の実践的指導力の形成	1	2								○	○	○	○		○		
		3007	生徒指導の意義と今日的課題	1	2								○	○	○	○		○		
		3008	児童生徒理解とその指導方法	1	2								○	○	○	○		○		
		3009	「生きる力」を育む学級・学年経営の実際と課題	1	2								○	○	○	○		○		
		3010	特色ある学校づくりと組織の活性化を図る学校経営の実際と課題	1	2								○	○	○	○		○		
		3011	共通5領域における実践力の育成	1	1															
分野別選択科目	学級経営・学校経営分野	3035	学級経営・学校経営事例研究Ⅰ	1	2							○	○	○	○	○	12			
		3036	学級経営・学校経営事例研究Ⅱ	1	2								○	○	○	○		○		
		3042	学級経営・学校経営事例研究Ⅲ	2	2								○	○	○	○		○		
		3043	学級経営・学校経営事例研究Ⅳ	2	2								○	○	○	○		○		
		3014	学級の主体性を育む教育実践活動	2	2								○	○	○	○		○		
		3015	学校と家庭・地域との連携における成果と課題	2	2								○	○	○	○		○		
		3017	教師に求められるリーダーシップと同僚性の今日的課題	2	2								○	○	○	○		○		
		3018	へき地・小規模校の経営と課題	2	2								○	○	○	○		○		
		3048	特別支援コーディネーターの役割と課題	2	2															
		3051	学校組織マネージメントの理論と実際	2	2								○	○	○	○		○		
		分野別選択科目	生徒指導・教育相談分野	3037	生徒指導・教育相談事例研究Ⅰ	1	2							○	○	○		○	○	12
3038	生徒指導・教育相談事例研究Ⅱ			1	2								○	○	○	○	○			
3044	生徒指導・教育相談事例研究Ⅲ			2	2								○	○	○	○	○			
3045	生徒指導・教育相談事例研究Ⅳ			2	2								○	○	○	○	○			
3019	生徒指導・教育相談の基礎としての生涯発達心理学			2	2								○	○	○	○	○			
3021	生徒指導の実際			2	2									○	○	○	○			
3022	現代社会と生徒指導			2	2									○	○	○	○			
3023	非行臨床心理学			2	2									○	○	○	○			
分野別選択科目	授業開発分野			3039	授業開発事例研究Ⅰ	1	2								○	○	○	○		
				3040	授業開発事例研究Ⅱ	1	2									○	○	○	○	
				3046	授業開発事例研究Ⅲ	2	2									○	○	○	○	
		3047	授業開発事例研究Ⅳ	2	2									○	○	○	○			
		3024	授業実践と学級づくり	2	2								○	○	○	○	○			
		3025	子どもの学びを拓く授業づくり	2	2								○	○	○	○	○			
		3028	道徳教育の開発	2	2									○	○	○	○			
3026	教材の開発	2	2									○	○	○	○					
学校における実習		3029	学校課題俯瞰実習	1	5											10 ストレート マスター				
		3030	自己課題解決・検証実習	2	5															
		3050	学校運営実習	1	6															
		3033	学校課題解決・検証実習	2	4															
		3031	リーダー育成基礎実習Ⅰ(*2)	1	4															
		3032	リーダー育成基礎実習Ⅱ	1	2															
共通演習		3034	マイオリジナルブック(MOB)作成	2	2										2					
修了に必要な単位数															46					

(*1) 科目番号には、それぞれの番号の先頭に、札幌は1 [科目番号]、旭川は3 [科目番号]、釧路4 [科目番号] が付きます。

(*2) のリーダー育成基礎実習Ⅰは、現職教員の教職経験に基づく教育実践記録(各領域に関する実践報告等)の審査により、実習が免除されることがあります。なお、事前・事後指導は受けなければなりません。また、単位認定にあたり、レポートが課されます。

(*3) ① 教職基礎力高度化コースは各分野の選択科目を各々2単位以上計6単位以上、② 教職実践力高度化コースは選択科目6単位以上、③ 学校改善力高度化コースは「学校組織マネージメントの理論と実際」「教師に求められるリーダーシップと同僚性の今日的課題」の2科目を含む6単位以上。

(*4) ① 教職実践力高度化コースは「リーダー育成基礎実習Ⅰ・Ⅱ」と「学校課題解決・検証実習」、② 学校改善力高度化コースは「学校運営実習」又は「リーダー育成基礎実習Ⅰ・Ⅱ」のどちらかと「学校課題解決・検証実習」を履修します。

※ 履修方法の留意点

1. 授業は、配当年次に従って履修してください。
2. 1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、32単位までです。
3. 上記1及び2にかかわらず、現職教員である学生は配当年次にかかわらず授業を履修することができます。なお、1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、44単位までです。